

えげのやま
国指定史跡会下山遺跡の概要



会下山（えげのやま）遺跡とは
今から約2000年前の弥生時代の遺跡
（高地性集落）



昭和31～36年に発掘調査



昭和29年に市立山手中学校の生徒が発見。
歴史研究部が発掘調査に参加。

昭和35年 兵庫県指定史跡第1号に指定



平成18～21年度 確認調査



平成23年2月7日 国指定史跡に指定





発掘されたもの
 竪穴住居跡
 まつり場跡
 火をたいた跡
 堀跡など

★これまでの調査
 面積は、合計約
 900㎡（遺跡全体
 の4.5パーセン
 ト）

復元竪穴住居

（昭和35年に復元。しかし昭和56年に焼失。）



会下山遺跡の出土品



石の道具（石器）



歴史研究団体
 「芦の芽グループ」の活動（昭和39年～）



芦屋ライオンズクラブ
 会下山遺跡清掃奉仕（昭和51年～）



市立小学校の校外学習



三条文化財整理事務所での見学



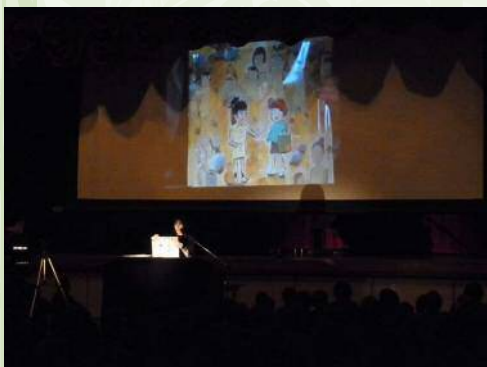
トライやるウィーク活動



紙芝居「会下山 二千年前のともだち」



市立山手中学校での紙芝居



クラーク記念国際高等学校
ボランティア活動



文化財市民ボランティアの活動



市民センター展示場での展示



他県の博物館の見学会



三条コミュニティ・スクール主催
初日の出会下山ウォーキング



芦屋観光協会による見学会



芦屋青年会議所によるイベント

